

「オンデマンド型移動期日前投票所」

## プライバシー影響評価報告書(概要版)

※今回の評価は、つくば市が現在実施している「つくば市プライバシー影響評価制度検討懇話会」での議論を参考に、試行的に実施したものです。本調査事業では概要版のみ公開しています。

2023年12月 評価者：東京海上日動・東京海上ディーアール

### 1. 評価の範囲・対象

本評価は、2024年1月下旬につくば市の筑波・臼井地区で実施する「オンデマンド型移動期日前投票所」の試験運行をその範囲・対象としています。

### 2. サービスの概要

■ 現在つくば市は、以下のような問題を抱えています。

- 自力で投票所まで行けない高齢者、障害者等にとって、公共交通が市内全域を網羅できておらず地域によっては投票所までの移動手段がない。
- 特に勾配の急な地域に居住する高齢者、障害者等が地理的、時間的な制約を受けており、結果として住民の政治参加が妨げられている状況が顕在化。
- 住民からも年を取ると移動が困難になり、投票所まで行けないので投票所が来てくれると大変助かるという声がある。障害者等からも同様の声がある。

■ このような問題を解決するために、以下の取り組みが必要であると考えており、そのために必要なサービスが「オンデマンド型移動期日前投票所」となります。

- 投票所までの移動が難しい住民の皆様誰もが困難なく投票できるようにするため、投票参加者がスマートフォンや電話で事前予約を行ったうえで、移動投票所が直接自宅前まで巡回し、移動投票所内で投票できるようにする。(自宅巡回投票所サービス)
- 送迎車が、移動困難な投票者の自宅と最寄りの移動投票所までの往復移動を担い、自宅巡回投票所と同様に本人の移動負担を最小限とした投票が実現する。(移動投票所送迎サービス)
- 移動投票所内では従来の投票環境と同様の手順(選挙人名簿に相当する紙リストで受付し、紙で投票)での投票を実現するとともに、立会ロボット「OriHime」の運用による遠隔立会人の動作を検証する。

### 3. サービスで期待される効果

- 「オンデマンド型移動期日前投票所」の提供により、以下を達成することが期待されます。

- 障害者や移動困難者が移動投票所の配車を予約することで、本人の移動負担を最小限とした投票が実現する。
- オンデマンド型移動期日前投票所のシステムが最適な移動ルートを決めることで、つくば市や事業者が効率的に移動投票所や送迎車を運行することが出来る。その結果、投票可能な住民数が増加する。

### 4. プライバシー情報の種類と使用目的

本サービスにおいては、以下のプライバシー情報を取り扱います。

- 個人情報
  - 投票案内用の封書の宛先に記載する氏名、住所
- オンデマンド型期日前移動投票所の運営に必要な情報
  - 予約サイト利用時に必要な情報： 生年月日

- 移動投票所および送迎車の運行に必要な情報：住所、郵便番号
- 移動投票所の運営に必要な情報：投票区の番号+個人ごとに付与する番号、立会ロボット「OriHime」を通じて投影される投票参加者が投票する様子

## 5. プライバシー情報に関するリスク

### ① 投票参加者に与える不利益

- ・ 本実証事業におけるサービスおよびシステムの運用によって市民が不利益を受けることはありません。
- ・ 本実証事業においては、要介護者・要支援者・身体障害者の方を主たる投票参加者としていますが、その旨が参加者ご本人以外に知れ渡ることはありません。

### ② プライバシー情報の外部提供

- ・ 選挙人名簿に相当する紙リストの記載内容、および本実証事業における投票参加者の管理番号が併記された一覧表は、つくば市職員およびスパイラル(株)が閲覧・利用します。スパイラル(株)は投票対象者に対し投票への参加案内を送付する目的のみで当該情報を利用し、いかなる目的でもスパイラル(株)内の本事業非関係者を含む外部に提供することはありません。
- ・ KDDI(株)は、投票参加者の住所と管理番号が記載された一覧表をつくば市より受領し、移動投票所および送迎車の運行に利用します。いかなる目的でも当該情報を KDDI(株)内の本事業非関係者を含む外部に提供することはありません。

## 6. プライバシー情報の漏洩対策

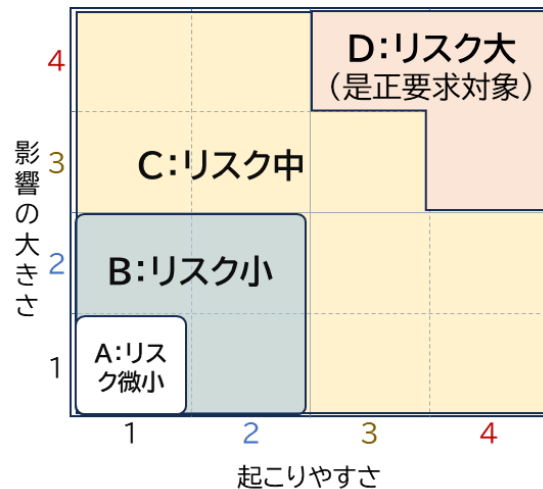
本事業の企画設計段階において、許容できないリスクは3つあり、事業者に対応を求めました。その経緯と最終的なリスクレベルは以下のとおりです。

リスクシナリオ	対策状況	評価者からの 主な改善要求	事業者による 対応結果	対応後の リスク レベル
投票参加案内封書が間違 った方に届き、本来の送付 先であった A さんが障害 者であるという情報が封入 物に記載の URL 等を通じ て他人に知られてしまう	封筒本体には投票対象者を 高齢者や障害者等に限定す る旨を記載していない。封入 物に「啓発サイト」の URL を 記載するが、そちらを検索す ると障害者等が対象となる 事業であることがわかる。	案内の封書からアクセスで きる URL 上で「高齢者」 「障害者」等のみを対象とし た事業でないことが分かる ように記載すること。	記載を修正し、「移 動や自筆が困難な 方の投票環境の 向上のため」と修 正しました。	B: リスク小 ／実施可
立会ロボット「OriHime」 の操作者が、当該ロボット を用い投票参加者がどの 候補者に投票したかを盗み 見し、その情報を悪用する	「OriHime」の画像に投票す る内容が映り込まない画角・ 構造になっていることを設 営時に確認する。 操作者とは情報の取り扱い に関する誓約書を取り交わ している。	「OriHime」で確認できる 画像の流出を防ぐため、私 用スマホを OriHime のオ ペレーション室に持ち込ま せないようにすること。	左記のとおり対応 しました。	B: リスク小 ／実施可
予約サイトのセキュリティ 上の脆弱性を利用したサイ バー攻撃や不正ログイン等 により、プライバシー情報 が漏洩し、悪用される	セキュリティ対策は網羅的に 施されている。 システムにアクセスする ID、 パスワードは限られた社員 のみに付与されている。	情報漏洩時の影響が大き くならないよう、プライバシ ー情報の取得は、試験運行 に必要な最低限の内容に すること。	左記のとおり対応 しました。	B: リスク小 ／実施可

## 7. プライバシー影響評価結果

本事業は市民・市の双方に一定の好影響をもたらすことが期待できますが、企画設計段階において許容できないリスクが3点挙げられました。しかしながら、評価者からの指導に従い、事業者が改善対応を実施しました。結果として**本事業のプライバシーリスクはB(リスク小／実施可)**となっています。

総合評価	影響の大きさ			起こりやすさ			
	身体への影響	精神への影響	財産への影響	物理的な脆弱性	技術的な脆弱性	管理の脆弱性	
						IT面	業務面
B(リスク小／実施可)	2	2	2	2	2	2	2



「影響の大きさ」の評価尺度

- 4: 甚大
- 3: 重大
- 2: 限定的
- 1: 無視できる

「起こりやすさ」の評価尺度

- 4: 容易に起きる
- 3: 起こり得る
- 2: 起こりにくい
- 1: 起こらない

以上